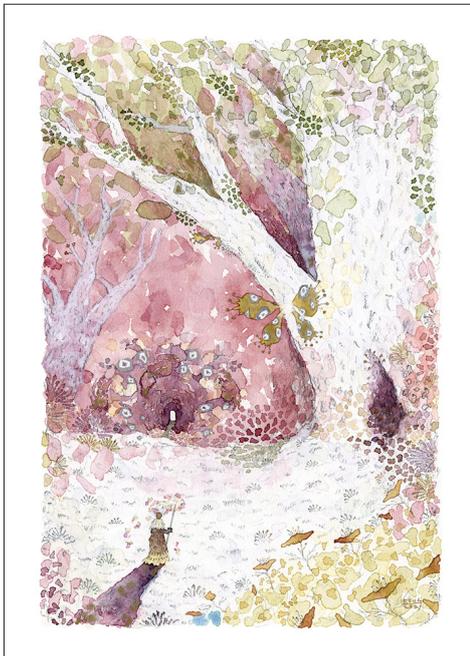


THE WORLD ATLAS

デザイン学科 外山奏瑠



1996年 東京都生まれ。東京都在住。イラストレーター。2021年 東京工芸大学大学院 芸術学研究科 デザインメディア領域 修了。2022年より同大学 芸術学部デザイン学科 助手に着任。繊細な筆致で絵の具の粒子と戯れながら、滲みを生かした色彩表現で幻想世界を描く。主な展示に個展「THE WORLD ATLAS(ヨロコビtoギャラリー)」、「いちののぞみ(ギャラリーハウスMAYA)」、「幻想標本(TAMBOURIN GALLERY)」がある。

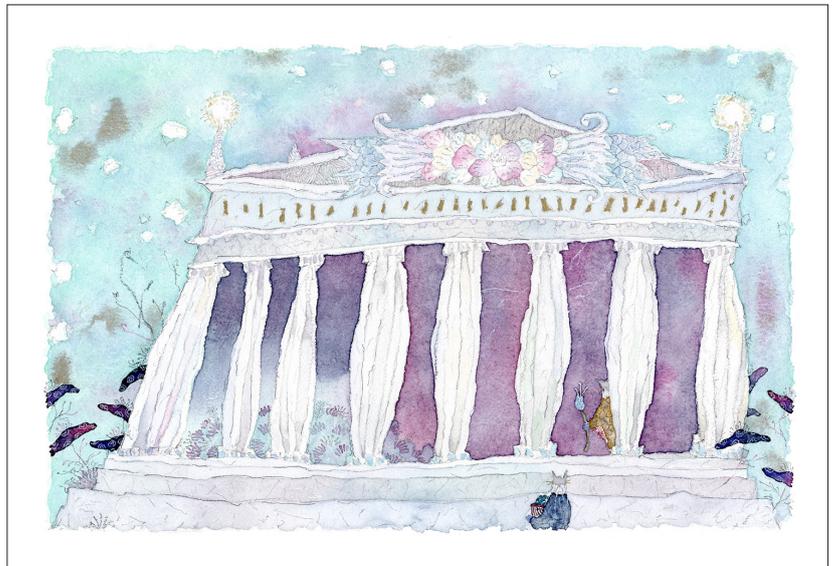


「羽化の洞穴」

私にとって絵を描くという行為は、自分自身の脳内や人知を超越した場所に回遊しているイメージを、此の世に持ち帰り実態として遺す行為である。水彩の滲みを生かした表現で絵の具の粒子と戯れながら、紙の上に幻想の風景を投影していく。その過程で絵と対話をし、互いに心を開くようにタイトルを聞き出す。そうして生み出された絵という物質を束ねた本展示が、鑑賞者を好転へと導く地図となることを心から望んでいる。



「秒針も眠るような夜」



「渴望を満たすような約束」